



▲終了後の話し合い (唐王集落)

みんなで

やらいや!

～まちづくり活動報告 (第11回)～

近年、東日本大震災や大雨による河川氾濫など、大規模な災害が多発しています。このような災害に対応するには、個々の集落での避難計画や防災訓練だけでなく、他の集落との連携や協力による、地区全体としての防災体制の確立が不可欠との危機意識のもと、10月28日(日)、まちづくり所子地区会議が主催し、所子地区集落一斉の防災訓練が実施されました。

当日は、20集落から約450人が参加し、集落の公民館など一時避難所への避難や町が開設した避難所への避難のほか、要援護者の避難支援の訓練が行われました。

参加者からは、「防災のことを考え

るいい機会になった」「高齢者・要援護者への避難支援体制の確立や、年に1回はこのような取り組みが必要」といった意見のほかに、「防災無線が聞き取りにくい」「サイレンを鳴らすべき」「集落によつては避難所の位置についての再検討が必要」といった課題も出されていました。

まちづくり所子地区会議では、月1回程度会議を開き、にぎわいのある所子地区の実現に向け検討を重ねています。

今後、地域全体の交流を図る、さまざまな取り組みが期待されます。所子地区の皆さまの積極的な参加とご協力が不可欠です。

防災意識の向上を!
～防災訓練を通じたまちづくり～

**所子地区集落一斉の
防災訓練**



▲大山武道館に避難する皆さん



▲各集落の意見交換 (大山武道館)

まちづくり所子地区会議

前田義機会長インタビュー

まちづくり会議の中で、各集落に共通する問題である防災について検討し、各集落の区長の同意を得て今回の訓練の実施に至った。参加される住民も訓練に対する心構えができており、迅速な避難と、避難用具を持つての参加など関心の高さがうかがえて大変よかった。

今後は、反省会をふまえて防災訓練の総括を行い、次のまちづくりに向けた検討を進めていきたい。